



児童数 464名
校長 鶴 欣二

実りの秋を迎えます

9月になり、朝夕はようやくしのぎやすくなりましたが、日中はまだ暑さが厳しい日々が続きます。引き続き、コロナウイルス感染症防止と熱中症予防に取り組んでいきます。



秋は、「スポーツ・文化・学習・読書の秋」です。まさに「実りの秋」であり、子どもも自分を実らせてほしいと思います。そのためにも、落ち着いた学校生活を全学年でつくりたいと考えています。ご理解、ご支援をお願いいたします。

非行防止教室(5年生)

10日、久留米少年サポートセンターより2名(少年育成指導官と警察官)と八女警察署より1名お出でいただきました。万引きや暴力等、具体的な非行事例を題材として子どもたちに語りかけていただきました。ほとんどの子どもが真剣に自分を振り返りながら聞くことができたと思います。【体育館で真剣に聞きました】



私は特に、ルールを守らないで、暴力(人をける・ドアをける、言葉の暴力)等の犯罪を犯せば身近な人を悲しませることになること、友だちから信用されなくなること等の話が印象に残りました。他学年でも講師を呼び、学習を行っていきます。

福島中学校区小中連携教育 公開授業・授業検討会

3日5校時、福島中学校、長峰小学校の全職員が本校に集まり、13の各教科等の授業公開と授業検討会を行いました。前号でもお伝えしましたが、小と小、小と中がしっかりと連携し、九か年で児童・生徒を育て、進路の保障につなげることが目的です。



各学級では、多くの子どもたちが真剣に、楽しく学習している姿が見られました。福島中や長峰小の先生方にも子どもたちの頑張りをほめていただきました。

授業検討会では、小学校や中学校での学習指導の在り方について話し合いを行いました。特に、子どもの「書く活動」を取り入れ、児童・生徒の学力向上を図っていくことをみんなで確認しています。【算数科授業検討会】



子どもたちの学習等を支援する先生が増えます！

臨時休業期間があり、保護者の皆様には授業時数の確保など、ご心配なことと思います。本校においては、文部科学省や八女市教育委員会の指示に従い、計画的に授業を進めておりますことをお知らせします。

さて、感染症対策を徹底しつつ子どもたちの学びの保障を行うために、国や県の事業に基づき、14日より学習等を支援する先生が増えることとなりました。皆さんが他に仕事等があるなかで、子どもたちの役に立てればという思いで来ていただきます。勤務される曜日や時間は異なりますが、多くの人が子どもとかかわることができる体制で、子どもたちへの支援を充実させていきたいと思っております。

下記に紹介します。

□指導方法工夫改善 1名

□学習支援員、スクール・サポート・スタッフ 7名

子どもたちを見守り、支援していただく皆様

本校に出向いていただき、子どもたちをいろんな面から見守り、育てていただいています。地域の皆様、本当にありがとうございます。

○福島小地域学校協働活動(3年生 習字の学習)



8月21日・25日、3年生1組・2組の習字の学習のべ5名の皆さんにお出でいただきました。手を取って、一緒に書いていただいたり、作品をほめていただいたりしました。担任だけでなく、地域の皆さんとのふれあいを通して、多くのことを感じ、学ぶことができたと思います。

(5年生 家庭科学習)

8月末より5年生では、ミシン縫いをするために必要な操作を学習しています。どの学級にも4名ほどの地域の方が、学習に入り、丁寧に使い方等を教えていただいています。子どもたちも、困ったときや失敗したときなど、すぐに相談でき助かっています。



○八女市社会福祉協議会

8月25日、4年生は車椅子体験を行いました。車椅子を15台準備していただき、5名の皆さんからいろんなことを教えていただきました。つくっていただいた段差や坂道等の場を4~5名ごとに、4カ所の場で自分たちで考えながら体験しました。車椅子を利用してある自分のおばあちゃんを思い浮かべ、感想を述べている子どももいました。

